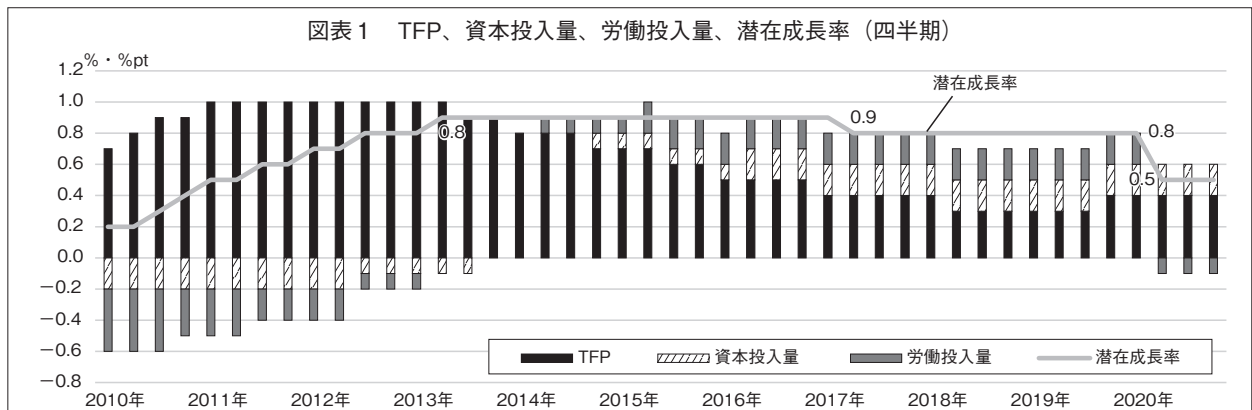


「潜在成長率」

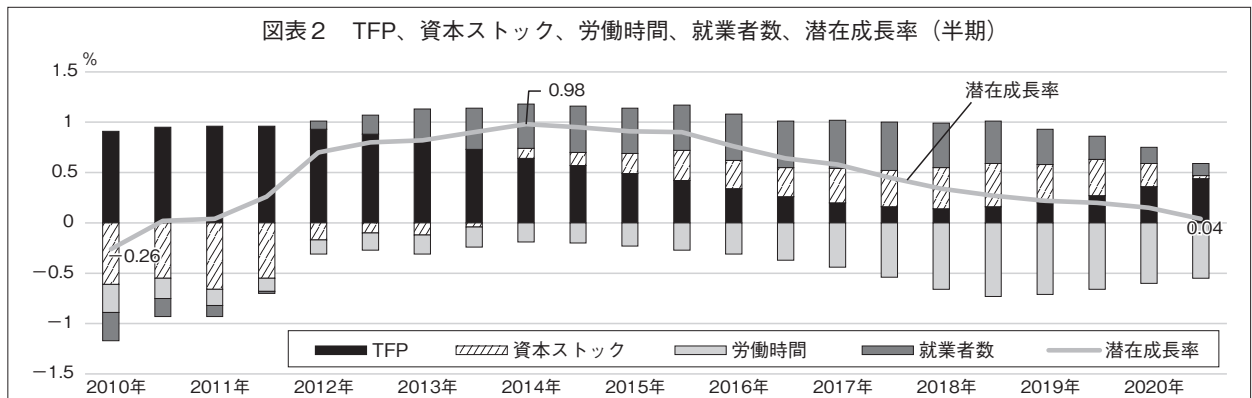
新型コロナの影響で潜在成長率がどこまで下がるのかということが話題となることがあります。今回はこの潜在成長率について説明いたします。

1. 「潜在成長率」とは

潜在成長率とは、国内にあるモノやサービスを生産するために必要な「資本」「労働力」「生産性」という3つの「生産要素」を最大限に活用した場合の国内総生産（GDP）における理論上の伸び率です。現実の成長率はさまざまな要因により変動しますが、中・長期的には、潜在成長率と同様の動きになると言われています。一般に潜在成長率は、技術革新による生産効率である「全要素生産性（TFP）」、企業や政府が保有する生産活動に必要な設備などの「資本投入」、労働力人口と労働時間から求められる「労働投入」の3つの寄与度の合計値です。なお、調査・研究機関によって定義や前提条件、用いるデータ、推計方法等が異なることに留意する必要があります。図表1は内閣府、図表2は日本銀行が公表している潜在成長率の推移表です。



潜在成長率は、前期比年率 単位：％
TFP（全要素生産性）・資本投入量・労働投入量は、潜在成長率に対する前期比寄与度（年率換算） 単位：％pt
資料：内閣府「月例経済報告（月次）」より当研究所にて作成



潜在成長率は、前年比
TFP・資本ストック・労働時間・就業者数は、前年比寄与度
資料：日本銀行潜在成長率より当研究所にて作成

閑話ひとつ

- ▶ 今年は福島放送（KFB）開局40周年になります。1981年10月のKFB開局により、それまでの福島県内民放2局（FTV、FCT）体制から3局体制へと変わりました（1983年のTUF開局で4局となる）。
- ▶ 開局年はFTVが1963年、FCTが1970年ですから、長い期間、大多数の福島県民はNHKのほかは民放1局、あるいは2局の中から視聴していたことになります（一部地域除く）。
- ▶ 福島県民は、少ない選択肢の中から番組を視聴せざるを得ず、情報弱者であったのではないのでしょうか。例えば、金八先生シリーズは福島ではリアルタイムの放送がなかったので、大人気の「たのきんトリオ」と言っても、はじめはわかりませんでした。
- ▶ 現在は、BSやCS等も視聴できるため、野球、ドラマ、アニメなど自分が視聴したい番組を多数の選択肢の中から選択できます。また、インターネットで動画を楽しむこともできます。NHKと民放2局の中から選んでいた私の少年時代からみれば、隔世之感があります。（HT）